

2023/01/18 第3回デジタル社会における都市経営と都市政策に関する研究会

話題提供

シビックテックを通じた市民参加について

一般社団法人コード・フォー・ジャパン / 東 健二郎

本日のお話のポイント

【前提】

コロナ禍で顕在化した課題解決のための行動変容（＝自分ごと化）とそれを持続的に可能にするアーキテクチャー構築の重要性

＝デジタル・トランスフォーメーションの本質

1. シビックテック活動における行動変容の具体的な実践例のご紹介
2. 「自分ごと化」（＝地方自治）は、どうデザインする・できるか？

シビックテック



Vision

ともに考え、 ともにつくる社会

誰もが「つくる」側に回ることができる。
社会に不満があるなら、まずは自らが手を動かそう。
自分たちの能力を、
より楽しく暮らせる社会づくりに使おう。
困っている人たちとともに考えながら、
新しい仕組みをつくろう。
組織や地域の壁を超えて繋がり、
アイデアを交換し、助け合い、挑戦しよう。

Civictech History

シビックテックの歴史

シビックテックは、2009年にアメリカで始まりました。
日本では2011年の東日本大震災を契機にITを活用した地域や社会問題へのアプローチが加速していきました。

Code for Japanファウンダーの関が「sinsai.info」や、被災地での活動を進める中で、Code for Americaの存在を知りました。Code for Americaに日本版立ち上げを伝え、2013年にCode for Japanを設立しました。

2009 ● Code for America 設立

2011 ● 3月11日
sinsai.info

2013 ● 5月7日
Code for Kanazawa

10月25日
Code for Japan 設立

2014 ● 9月23日-25日
Code for America Summit 登壇

各地でブリゲードが設立されていく



2013年以降

米国の州・地域ごとのコミュニティ
(brigade)のように、日本国内でも地域
ごとのコミュニティが各地に広がる。

Civitech Community

ブリゲードとは

Code for Japanと同じく、ITで地域課題の解決に挑戦する「Code for X（地域名）」が全国で活動しています。北海道から沖縄まで全国で活動している各団体を私たちはブリゲード（Brigade: 消防団）と呼んでいます。

Code for Japanは、全国で活動するブリゲードとパートナーシップを結び緩やかなネットワークで繋がっています。



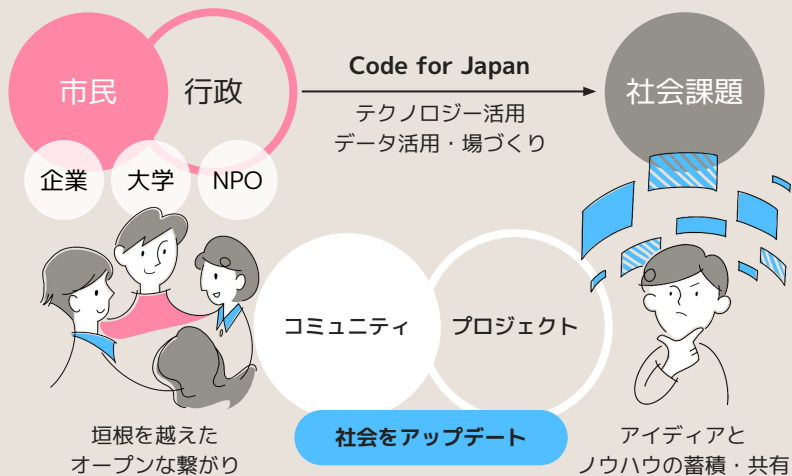
Mission

オープンにつながり 社会をアップデートする

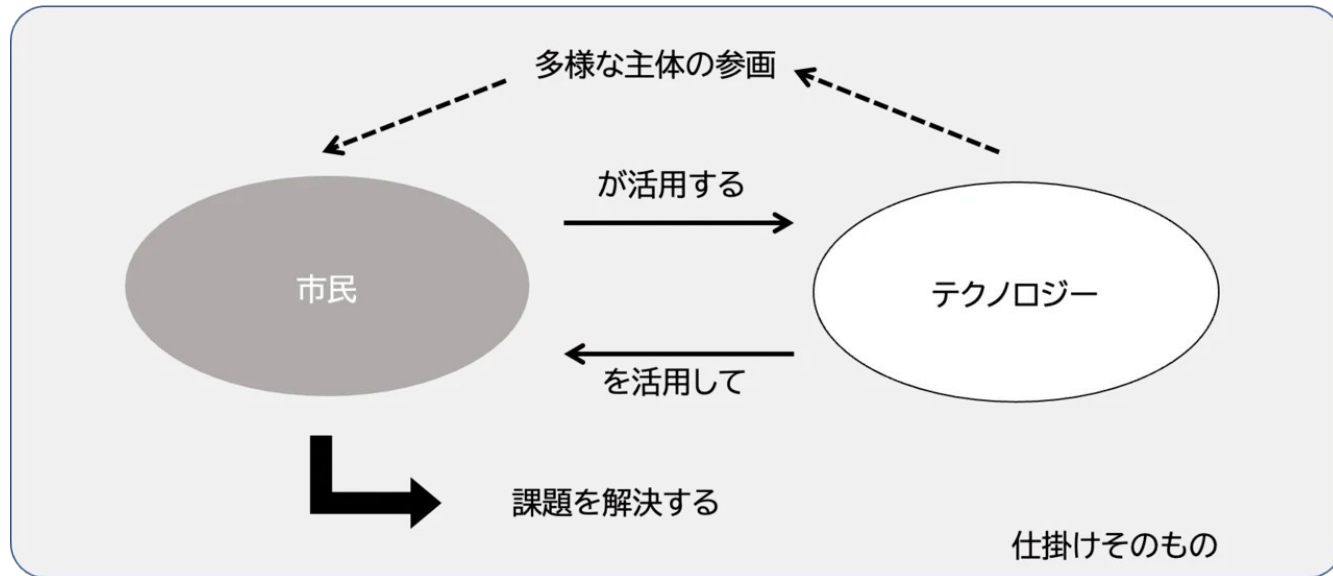
地域の課題に対する「要望」や「苦情」などの期待を行政に伝える。あとは行政から公共サービスの提供を待つ。そんな受動的な「行政依存」を、私たちは変えていきたいと思っています。

企業や大学やNPO、シビックテックに取り組む団体と連携して、市民が行政とともに課題解決について考え、テクノロジーやデータを活用し社会課題を解決していくための「場づくり」をしたい。

そこから、様々な垣根を越えたオープンなつながりと、コミュニティが生まれる。プロトタイプ（試作）を繰り返すことで、アイデアやノウハウが蓄積され共有される。これら一連の活動を推進力にして、社会をアップデートしていくことが私たちのミッションです。



シビックテックの要素



出典：東「シビックテックの展望～人・地域・デジタルが結ぶ新たな共創の形へ～」
(『エストレーラ』2021年6月号(公益財団法人統計情報研究開発センター、2021年))

シビックテックの分類

コミュニティ 各地でのブリゲードに多様な人たちが参加、Slack等でのオンライン活動	サービス開発 当事者によるアプリ開発	フィールド活動 各地でデータやコンテンツを生み出す継続的な活動 (例) マッピングパーティ・ウィキペディアタウン
課題解決スキームの提供 プロジェクトベースでのサービスやアクション (例) コンテスト・アイデアソン・ハッカソン・アクセラレータープログラム	官民連携の促進 官民人材交流、GovTech領域のビジネス化、スマートシティの推進	アドボカシー 政府部門への参画、政策立案におけるアドボカシーとしての位置づけ

出典：東「シビックテックの展望～人・地域・デジタルが結ぶ新たな共創の形へ～」を要約
(『エストレーラ』2021年6月号(公益財団法人統計情報研究開発センター、2021年))

コロナ禍でのシビックテックの活動

新型コロナウイルス感染症対策サイト

- 多くのエンジニア・デザイナー・学生がボランティアとして活躍
- 東京都がオープンソースとして公開し、全国各地で同様のサイトが誕生



東京都のサイト

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>



京都府のサイト

※公開終了

コロナ禍でのシビックテックの活動



<https://www.jibungoto-planet.jp/>

カーボンフットプリント可視化アプリ

じぶんごとプラネット

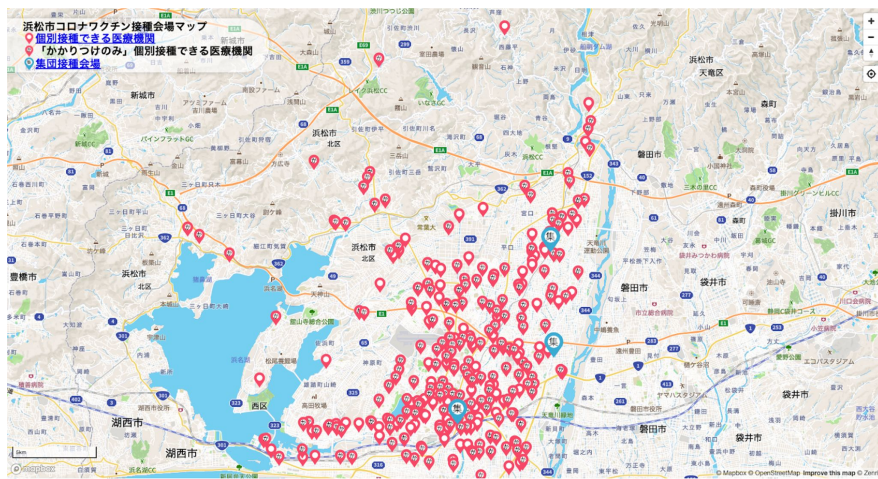
じぶんごとプラネットは、住居・食・移動・消費財の4項目に関する設問に答えると、それぞれの項目についてユーザーが年間どれだけの温室効果ガスを排出しているのかを二酸化炭素（CO₂）量として算出するアプリです。日本のデータに基づいた国立環境研究所独自の計算アルゴリズムを用い、新しいライフスタイルの具体的な選択肢を数字で提案します。

2022年8月末、Code for Japanと国立環境研究所がアプリの基礎となるプラットフォームを共同開発し、フットプリント可視化の計算アルゴリズムはオープンソースソフトウェアとして無料公開しています。

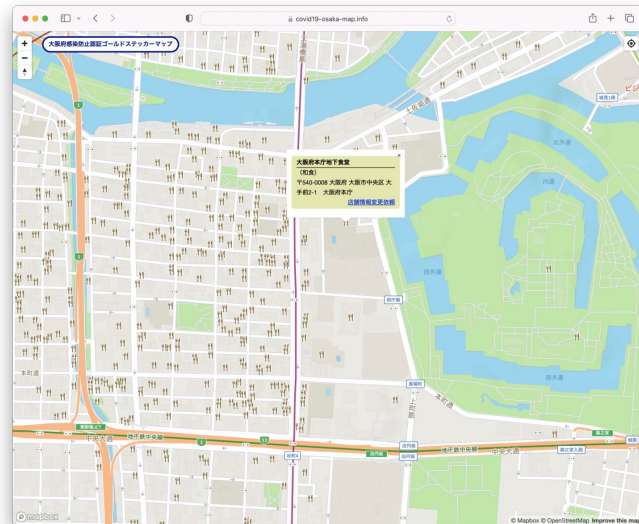
コロナ禍でのシビックテックの活動

行政提供情報の可視化を通じた官民連携・行動変容へのアプローチ

- ワクチン接種会場マップ (Code for Hamamatsu)
- 大阪府感染防止認証ゴールドステッカーマップ (Code for OSAKA)



<https://hamamatsu.areamap.info/vaccine/>

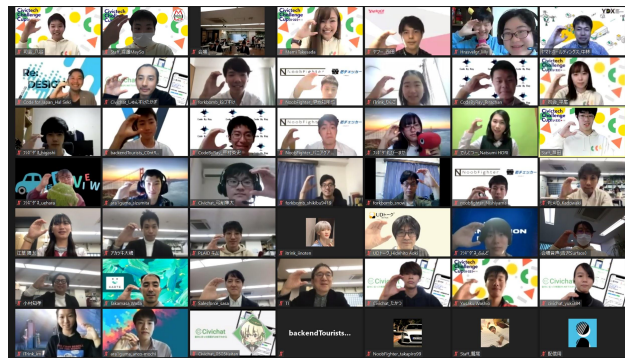


<https://covid19-osaka-map.info/>

コロナ禍でのシビックテックの活動

若者によるシビックテック

- 学生みずからが企画したインターン・課外活動の代わりになるチーム開発コンテスト
- STEAM教育の一環で高校生がまちの改善アイデアを考えて、プロトタイピングツールで実装



コロナ禍でのシビックテックの活動

政府・自治体における横連携の促進、デジタル外部人材としての活動

- シビックテックコミュニティから多数外部人材として活動

ネットワーク化の取組例①

Code for Japan

○非営利型の一般社団法人としての側面

…行政機関などに対して研修やセミナーをはじめ、公共向けの自社サービスを提供

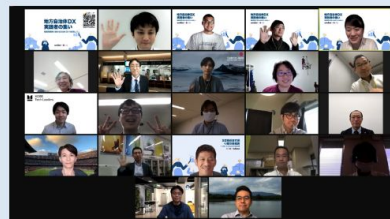
○コミュニティとしての側面

…シビックテック（※）を推進

※シビック（市民）とテクノロジー（技術）をかけあわせた造語で、「市民主体で自らの望む社会を創りあげるための活動とそのためテクノロジー」のこと。

【自治体DX推進に関する研修を通じたラーニングコミュニティの形成】

地方公共団体職員等が自治体DX推進に必要なスキルや考え方を習得する研修プログラム。研修参加者の実際の業務課題や業務フローを題材として「EBPM」「BPR」「サービスデザイン」「組織の心理的安全性」などを学ぶアクティブラーニングであり、研修を受講した自治体同士の情報交換も活発で、庁内外のラーニングコミュニティとしても機能している。



「地方自治体DX実践者の集い」
(令和3年5月19日 オンライン開催)

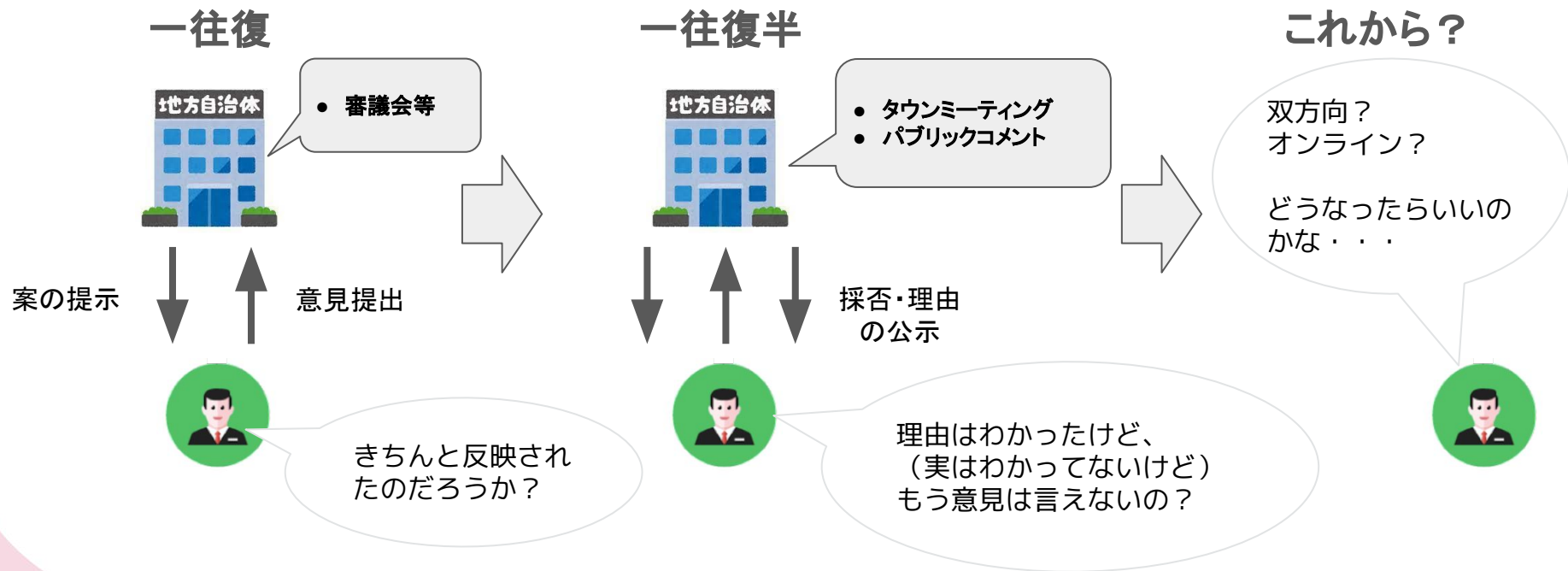


Code for Japanメンバー
外部デジタル人材としても活動

市民参画・市民エンゲージメントツール

市民参加の変遷とこれから

参加による行政の推進は30年来の課題。では、どうすればよいのか？



オバマ大統領「オープンガバメント指令」（2009年）

…establish a system of transparency, public participation, and collaboration



<https://obamawhitehouse.archives.gov/open>

参加のレベル3「エンゲージメント」

参加のレベル：One-way→Two-way→Engagement

- あらゆる参加者は、アジェンダの設定・プロジェクトや政策の提案・対話において、**同等の立場**にある
- (そのために) **対話の機会**と情報、データ、デジタルツールなどの**必要なリソース**が与えられる

1.

INFORMATION

- Initial level of participation
- One-way relationship
- On-demand provision of information
- Proactive measures to disseminate information

2.

CONSULTATION

- More advanced
- Two-way relationship
- Requires provision of information plus feedback on outcomes of process

3.

ENGAGEMENT

- When stakeholders (including citizens + civil society) are given opportunity and necessary resources to collaborate during all phases of the policy-cycle and in service design + delivery

OECD「オープンガバメントに関する理事会勧告」(2017年)

<https://legalinstruments.oecd.org/en/instruments/OECD-LEGAL-0438>

現在の市民エンゲージメントツールの文脈 ～SDGsとの関係～

16 平和と公正を
すべての人に



目標16 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する。

ターゲット（抄）

16.7 **あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型、および代表的な意思決定を確保**する。

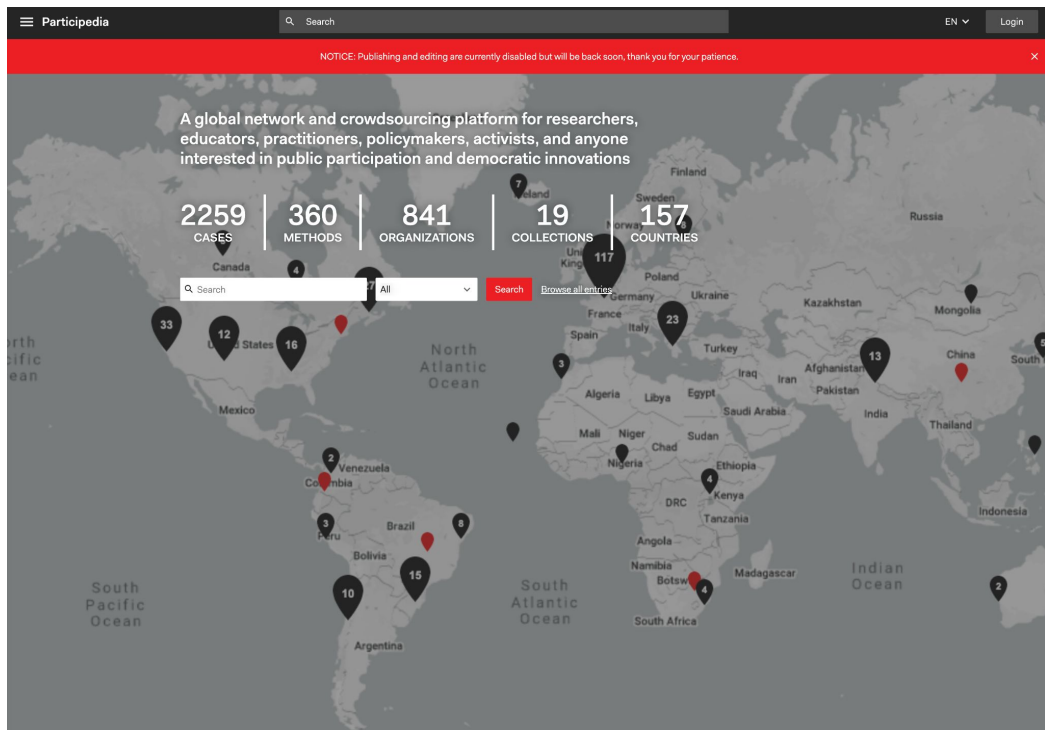
グローバル指標

16.7.1 国全体における分布と比較した、国・地方の公的機関（(a) 議会、(b) 公共サービス及び(c)司法を含む。）における性別、年齢別、障害者別、人口グループ別の役職の割合

16.7.2 国の政策決定過程が包摂的であり、かつ応答性を持つと考える人の割合（性別、年齢別、障害者及び人口グループ別）

（出典）外務省ホームページ <https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/statistics/goal16.html>

世界の市民エンゲージメントツール



<https://participedia.net/>

日本における市民エンゲージメントツールの変遷

その時々ICTのアーキテクチャーに依拠しながらも継続されてきた → 温故知新

電子市民会議室

～2000年代前半



藤沢市市民電子会議室

地域SNS

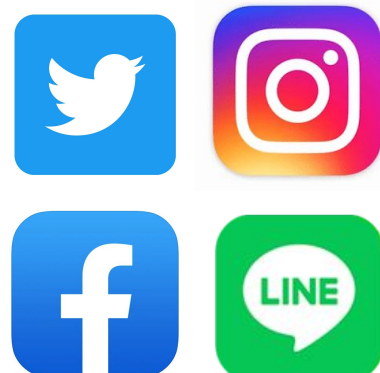
2000年代後半～



ひよこむ（兵庫県）<https://hyocom.jp/>

SNS

2010年代～



参加型合意形成
プラットフォーム

2020年～



加古川市 市民参加型合意形成プラットフォーム
<https://kakogawa.diycites.jp/>

Make our City

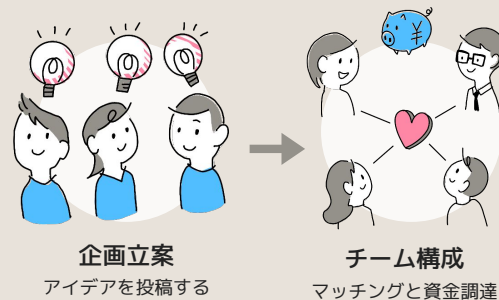
誰もがアイデアを実験できる オープンなプロセスを作る

Make our Cityは、「わたし」主体のまちづくりを通してウェルビーイングを実現する取り組みです。

多様な人々が豊かに暮らすまちは、関わる人々が役割や立場を越え、生活者としての「わたし」として有機的につながることで生み出されていきます。

これからのスマートシティをめぐる議論はオープンにおこなわれ、つくられるものはできる限りオープンソースであるべきだと私たちは考えています。

Code for JapanはMake our Cityで開発するシステムやノウハウを開放し、みなさんの地域でも自由に使えるようにしていきます。



データ連携基盤
ウェルビーイング指標

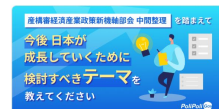
市民ワークショップ
Decidim

社会実装へ

日本におけるプラットフォームの展開（Decidim以外）



行政からの相談に意見しよう



今後日本が成長していくために、検討すべきテーマを教...

経済産業省
2022/06/13-2022/06/30 23:59まで意見募集



最も印象に残った政策について感想を教えてください

経済産業省
2022/06/13-2022/06/30 23:59まで意見募集



今後の政策立案のプロセスをアップデートするにあ...

経済産業省
2022/06/13-2022/06/30 23:59まで意見募集



皆さんが中小企業庁のもつビッグデータ目録にアクセ...

中小企業庁
2022/06/08-2022/07/10 23:59まで意見募集



登録する



<https://polipoli-gov.com/>



<https://digital-agency.ideabox.cloud/>

日本におけるプラットフォームの展開（Decidim以外）



トピックス



<https://the-issues.jp/>



<https://liquidous.com/>



<https://d-agree.com/site/>

Decidimについて

Decidimは、「我々で決める」を意味するカタルーニャ語にちなんで、2016年にバルセロナで誕生したオープンソースによる市民エンゲージメントのためのプラットフォームです。

世界各地での運用実績

バルセロナから世界各地に広がり、スペイン、フィンランド、アメリカ、メキシコ、台湾などをはじめ30カ国や地域・450サイト、約100万ユーザーが利用しています。

日本における展開

2020年10月に兵庫県加古川市で初めて導入され、国・自治体・民間部門で、約20サイトで利用されています。

<https://decidim.org/ja/>



機能的な特徴：合意形成を進めるプロセスとコンポーネント

プロセスに応じた様々なテンプレート（コンポーネント）を提供するCMS

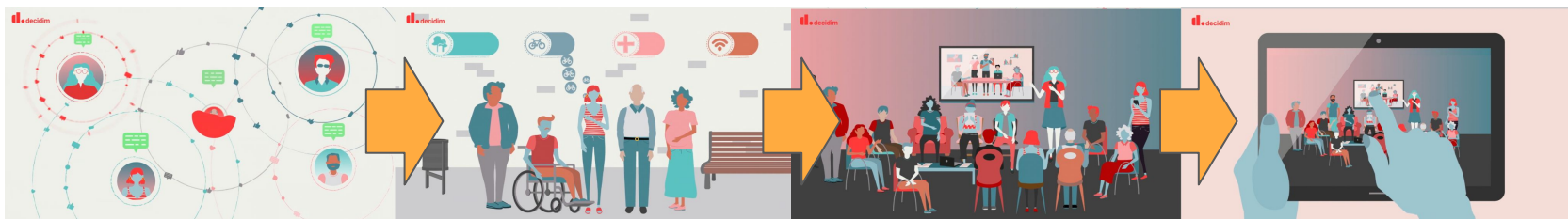
プロセス 戦略立案・住民参加型計画策定・討論・署名活動・相談受付・参加型予算編成等

アイデアを集める

アイデアをシェアする

ディスカッション・投票

進捗を公開・確認する



コンポーネント

ミーティング	提案・投票	調査	ディベート	ブログ	進捗報告
--------	-------	----	-------	-----	------

さまざまなDecidim

スペイン・バルセロナ市

- 18テーマ・100件の市民参加プロセスが設置され、市民エンゲージメントのプラットフォームとして定着
- 参加者は約15万人、コメント総数34万件
- 参加型予算に、約7万人が参加
 - 最終的には4万人が2,000件の提案に対して投票し、合計20万票により800件を採択
- リアルの空間で随時ワークショップや登録受付をしている



<https://www.decidim.barcelona/>

さまざまなDecidim

アメリカ・ニューヨーク市

- 25コミュニティ単位で参加型予算編成プロセスを運用
- 9～24歳の「若者」が参加でき、アイデアの提出・投票権を付与。投票には、紙の投票用紙・電話投票の手段も
- ニーズ調査に対する回答者から抽選で50ドルギフトカードが贈られたりしている

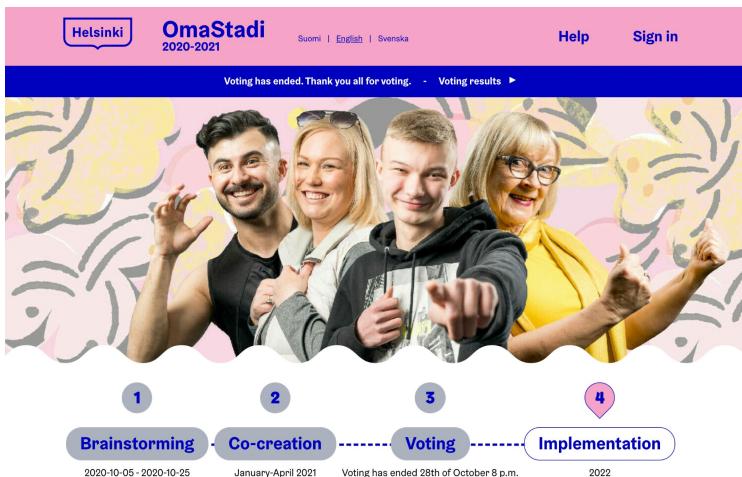
The screenshot displays the NYC Civic Engagement Commission (CEC) website. At the top, the NYC logo and 'Civic Engagement Commission' are visible. A search bar and language selection options are present. The main navigation bar includes 'Home', 'Participatory budgets', 'Groups', and 'Help'. The featured banner for 'The People's Bus' includes the URL 'PARTICIPATE.NYC.GOV' and the tagline 'The People's Festival 08-04-2021 - 09-06-2021'. Below the banner, a section titled 'THE PROCESS' and 'FESTIVAL STOPS' provides information about the bus project. A video player shows a blue bus with 'The People's Bus PSA' and 'STATEN ISLAND' text. To the right, a sidebar shows a 'Follow' button with a count of 21, the start date (May 01, 2021), the end date (September 30, 2021), and a reference link: 'Reference: CEC-PART-2021-04-4'. Social sharing options for 'Share' and 'Embed' are also available.

<https://www.participate.nyc.gov/>

さまざまなDecidim

フィンランド・ヘルシンキ市

- 880万€の参加型予算編成を実施し、約400の提案・12歳以上に投票権・最大7,000票獲得
- 身近なまちづくりへの予算措置を通じて代表制民主主義と相互補完する取り組み



The Helsinki of dreams is
created together. OmaStadi.

<https://omastadi.hel.fi/>



A barbecue/campfire spot for learning and recreation outdoors

Parks and nature Northeastern 2 comments

A barbecue/campfire spot would be built for learning and recreation outdoors. There should be room for 40 people, at the minimum.

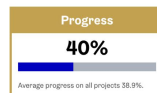
Implementation timeline

- 1 Mar - Apr 2022
Sijainnin verkostotarkastelua, kaupungin eri tahot ja asiantuntijat
- 2 Jun - Aug 2022
Mahdollinen sijainti ja hahmotelma kommentteille seurantasivulla
- 3 Aug - Oct 2022
Päätös suunnitelman laatiminen

Project details

Project description

Budget breakdown



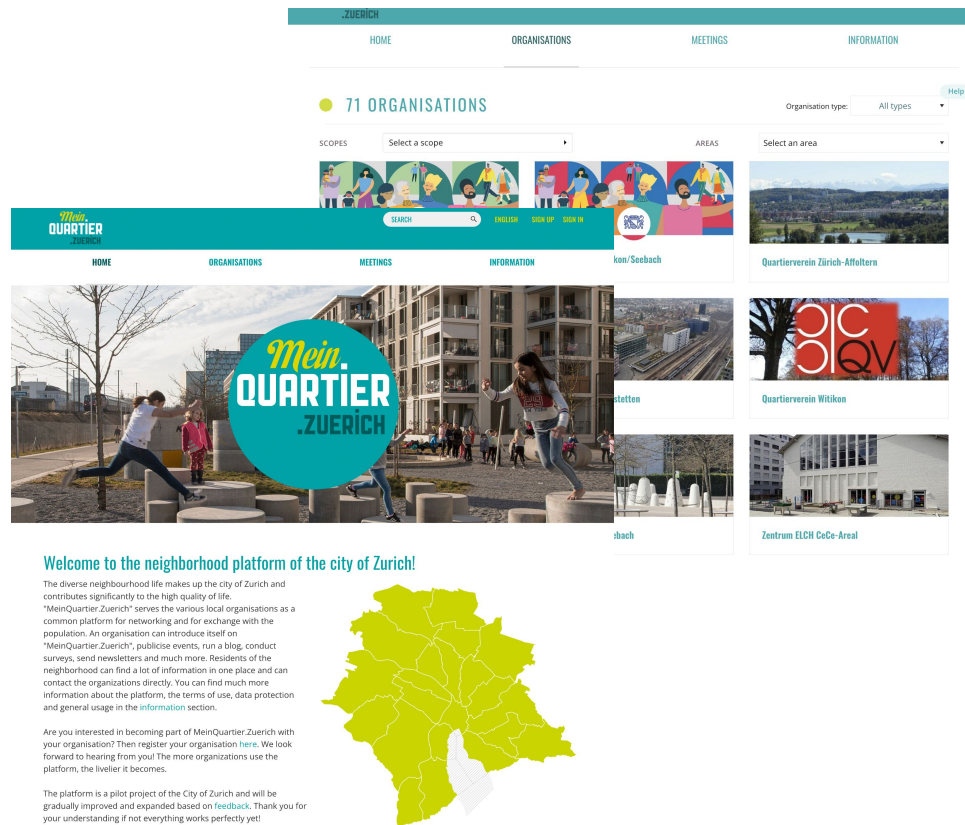
Project info	
Budget: 60,000	
Year of voting: 2021	
Votes: 889	
Responsible party:	Kaupunkiympäristö KYMP, Maankäyttö ja kaupunkirakenne, Kaupunkitila- ja maisemasuunnittelu
District: Northeastern	
Theme: Parks and nature	

Reference: HEL-RESU-2022-01-145
Share

さまざまなDecidim

スイス・チューリッヒ市

- 市内71地区内のネットワーキングと住民との交流のための共通のプラットフォームとして試行
- メンバーの自己紹介、イベント宣伝、ブログ運営、アンケート実施、ニュースレター発行など地区協会の取り組みを紹介
- 地区の住民は、地元や周辺の様々な情報をワンストップで見つけて、直接問い合わせることができる



<https://meinquartier.zuerich/>

キオスク



Kiosk Josefswiese

#kioskjosefwiese - Die Josefswiese ist der naheliegende Quartier-Treffpunkt für Erholung und Geselligkeit. Raum & Ort für Alle & Vieles: Angebot als auch Möglichkeit.

THE ORGANISATION MEETINGS

Bring dich ein, dafür gibts den Verein: Ob Toggeltturnier oder Falkenschau. Mach Öppis & Meld dich!

Das Team des Kiosk- und Bistrotetriebs verpflegt die Durstigen und Hungrigen mit einem einfachen & sorgfältig gestalteten Angebot durch den Tag und die Jahreszeiten. Die Grillwurst, der Salat, das Bier. Die Wähe, das Gasparini-Glacé, der Cappuccino. Frei von Werbung, Konsumzwang & Reservation lebt das Bistro des Vereins Kiosk Josefswiese seit 1996 für Gross & Klein.

ÖFFNUNGSZEITEN

Der Kiosk hat bei trockenem Wetter zu folgenden Zeiten geöffnet:

Oktober: täglich von 10 - 18 Uhr

November und Dezember: Mittwoch / Samstag / Sonntag von 14 - 18 Uhr

[▲ 7](#)
[Follow](#)

WEBSITE
www.josefwiese.ch

CONTACT VIA
kiosk@josefwiese.ch

WHO PARTICIPATES
Alle

AREA
Quartier-Industriequartier

ORGANISATION TYPE
Association

セルフ修理ステーション



Reparaturaria

Rethink, Refuse, Reduce, Reuse, Recycle, Repair

THE ORGANISATION BOARD MEMBERS IFRAME MEETINGS

Der Verein REPARATURARIA wurde 2021 gegründet. Bei uns reparieren die Besucherinnen und Besucher ihr defektes Gerät selber.

Unsere Dienstleistung ist gratis!

Wir denken dabei in erster Linie an Haushaltgeräte, Kleinmöbel und Spielsachen. Wir reparieren keine Mikrowellengeräte, TV, Handys oder Verbrennungsmotoren.

Werkzeuge sind vorhanden und können gratis benutzt werden. Sollte das Gerät sich weigern repariert zu werden, so können Sie jederzeit unsere fachmännische Hilfe ebenfalls gratis beanspruchen.

Geniessen Sie anschließend nach getaner Arbeit einen Kaffee oder Tee und erzählen Sie in Ihrem Freundeskreis von uns.

Falls Sie jedoch absolut keine Zeit haben eine Reparatur selber auszuführen, so besteht die Möglichkeit, ihr Gerät kostenpflichtig bei uns reparieren zu lassen. Wir erstellen einen Kostenvoranschlag.

Normalerweise offen jeweils Mittwoch 14:00 - 18:00

Sie finden uns unter <http://www.reparaturaria.ch>

[▲ 6](#)
[Follow](#)

WEBSITE
<http://www.reparaturaria.ch/>

CONTACT VIA
info@reparaturaria.ch

KEYWORDS
Seebach - Oerlikon - Affoltern

Reference: quartiere-ASSE-2022-03-54

Share

Embed

日本のDecidim事例

<https://meta.diycities.jp/assemblies/hereandthere>

官民間わす幅広い分野でのコミュニケーションプラットフォームとしての活用がはじまっています。

パブリックコメントのアップデート

● 計画策定プロセスへの適用

パブリックコメントに追加する形で、市民同士・市民—自治体のコミュニケーションの場として運用

● 多様で個別のニーズを反映する仕掛け

(例) 兵庫県加古川市

- 地元高校生が多数参加し、これまでとは異なる層にアプローチ
- 高校生の意見がコメント全体に変化をもたらす
- オンライン・オフライン双方での対話により計画を策定



日本のDecidim事例

<https://meta.diycities.jp/assemblies/hereandthere>

官民間問わず幅広い分野でのコミュニケーションプラットフォームとしての活用がはじまっています。

ボトムアップでの特徴あるアプローチ

- **公共空間のプレイスメイキング**
まちの広場や公園の管理者と参加者が利用ルールの整備・活用を協働して行う
- **デジタルシチズンシップの展開**
(例) 福島県西会津町
 - アントレプレナーシップ教育として中学生がまちづくりを提案を行う
 - 町内外が連携して社会実装を目指す(例) 兵庫県加古川市
 - 高校生が企業プロボノ・市役所職員のサポートを受け、市長に政策提案
- **地域運営組織での活用**
(例) 京都府与謝野町
 - 500人規模の集落での活用



まとめ

デジタル参加プラットフォームを取り巻く可能性と課題

可能性

- ・ **新規性**

いろいろなことができそうだという期待

- ・ **熟議？**

役所ホームページよりも長い閲覧時間。
じっくり読んでいるユーザーの存在

- ・ **フランクなコミュニケーション**

「中の人」とやりとりするノリ

- ・ **双方向+α**

役所だけでなく他の意見を知る

- ・ **コロナ禍でのオンラインの経験**

オンラインが日常化した後で日常感

課題

- ・ **代表性**

一部の人の意見では？

- ・ **意見集約**

多様な意見をどのように集約するか？

- ・ **行政側の対応コストや能力**

一つ一つにどう返信するか・できるか

- ・ **ポピュリズムの危険**

いいね！が多い意見が本当に正しいか？
ただし、民意は無視できない

- ・ **参加者のリテラシーやアウトリーチ**

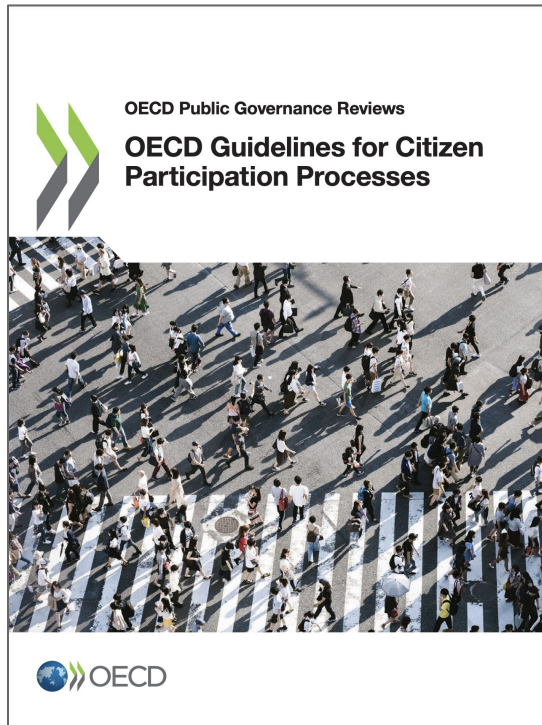
参加してもらう事自体にハードル

参加のベースとプロセスを加速するルールメイキングへ

日本はコロナ禍でのデジタルプラットフォームの(再)登場により、急速にキャッチアップしているが、ルールのリニューアルが急務

	日本	海外
プロセス	• プレイスメイキング • デジタルシチズンシップ教育 • パブリックコメント	• パブリックインボルブメント • デジタルシチズンシップ実践 • 参加型予算編成
参加の方法	• オンライン・オフライン区別 ＝一部適用、試行	• オンライン・オフライン統合 ＝併用、日常化
ルール	• 2000年代初め（のまま） → デジタル化に遅れ	• 2000年代から順次制定済 → デジタル化に順応

OECD Guidelines for Citizen Participation Processes (2022年9月)



市民参加プロセスの計画と実施の10ステップ

1. 解決すべき問題と参加のタイミングを特定する
2. 期待される成果を定義する
3. 参加対象者を特定し、リクルートする
4. 最も適用可能な参加方法の選択
5. **適切なデジタルツールの選択、対面式との並行**
6. プロセスの透明性確保、明確平易なコミュニケーション
7. 参加プロセスの実施とそのTips
8. 意見の活用とフィードバック
9. 参加プロセスの評価
10. **「民主主義の筋トレ(exercise their democratic "muscles")」を通じた参加文化の醸成**

Decidim活用シーンのアイデアは多様

コロナ禍を経験した後に、本格的なデジタル化に取り組む日本ならではの特徴

都市・小規模自治体
双方での活用事例

大阪・関西万博2025
に向けた活動

プロスポーツと
地域活性化

都市再開発における
住民参加

学会活動での
市民との対話

メディアによる
フォーラムの場

デジタルファシリテー
ションツールとしての
可能性

新たな参加型合意形成
(例：気候市民会議)

地域運営組織による活用

オンラインとオフラインの統合（Integration）

オンラインとオフラインを統合する考え方には、その地域ごとの特性がある

（釜石市の例）

震災復興以来、オフラインで対話

- 仕事を持つ中で常時参加が難しい
- コロナ禍で対面活動の継続が困難

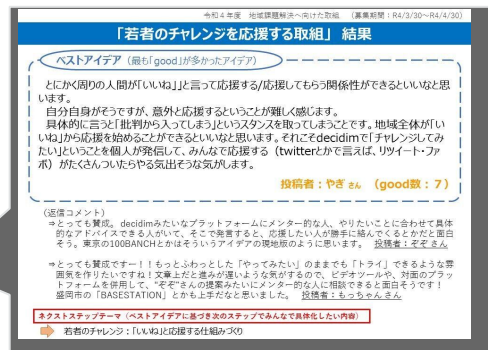
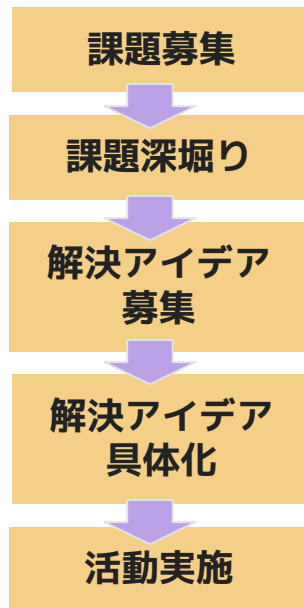
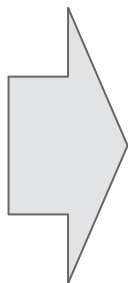


かまいし未来づくりプロジェクトチーム
6部会・48人

かまいし情報ポータルサイト

<https://en-trance.jp/news/kamaishishinbun-news/26898.html>

Decidimの活用によりプロセスを可視化

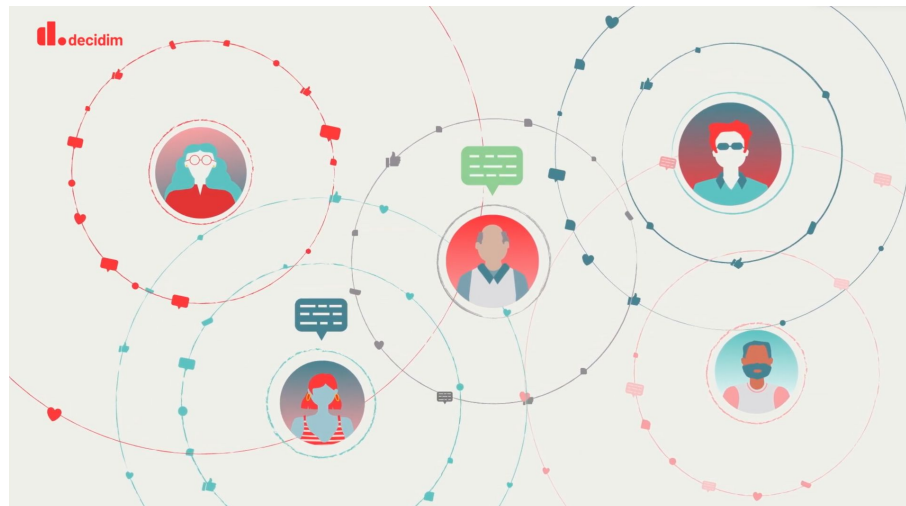


※フェーズごとに意見を集約し
Decidimで共有

<https://kamaishi.makeour.city/>

オンラインとオフラインの統合（Integration）

- コミュニケーションの質への配慮
 - 対面・オンラインでしかできないこと・相互補完する視点を持つ
 - 「便利だから」を超えた意味づけ （例）記録の保持・公開、参加へのハードル



Decidim概要動画より抜粋

<https://youtu.be/jwHIkUBr75Q>

我々は、何を変えなければならないのか？

(例) 条例・要綱による市民政策提案手続／地域活動交付金の実施プロセス



市民政策提案制度（和光市）



市民活動交付制度（市川市）

※2015年度まで1%支援制度として運用

策定された時期によって、
組み込まれたプロセス・機能がマチマチに

- 資格要件（成人を前提）
- ワードファイル・A4に提案をまとめて提出
- 役所側 or 外部有識者の審査
- コーディネーターの支援・関与
- 資金の財源・使途
- デジタルとの関係

